経済安全保障重要技術育成プログラム

「持続的で競争力に優れる海事産業のための統合シミュレーション・プラットフォームの構築」研究開発課題のうち、研究開発項目6における「AIを活用した季節予測モデルの開発　データ駆動型モデルの開発」

研究開発提案書

（記入要領）

【様式１】　研究開発提案の概要

【様式２】　研究開発提案の詳細（20ページ以内）

【様式３】　研究開発期間内における予算計画

【様式４】　確認事項

【様式５】　参画企業に関する情報

【提案書記入にあたっての注意事項】

* 各様式のページ数は、各様式に指定されたページを超過しないでください。
* 本文のフォントサイズは【10ポイント以上】を厳守してください。
* 【様式２】は、必要に応じ、図表を用いても構いません。
* **青字の記入要領は、提出時に削除してください。**
* **本紙（記入要領表紙）は、提出時には削除してください。**
* ファイルの容量は5MB以内で作成してください。
* 締切後の書類の修正は、一切認めません。

上記の注意事項が守られていない提案は、原則として、不受理、ないし、不採択とします。

**【様式１】研究開発課題提案の概要**

|  |
| --- |
| **１．提案先の研究開発構想名** |
| 「デジタル技術を用いた高性能次世代船舶開発技術」及び 「船舶の安定運航等に資する高解像度・高精度な環境変動予測技術」に関する研究開発構想（プロジェクト型） |
| **２．提案する研究開発課題名（30文字程度）** |
| 提案する研究開発課題名を記入してください。 |
| **３．提案する研究開発課題の概要（400字以内）** |
| 提案する研究開発課題の概要を記入してください。（句読点を含め、**400 字以内**）※提案が採択された場合、公開対象の情報として扱います。 |
| **４．キーワード** |
| 提案する研究開発課題の特徴を表すキーワードを挙げてください（5つ以内） |
| **５．研究開発期間（研究開発開始から4.5年（54ヶ月）以内）** |
| 2026年4月（予定）～ 年 月（ 年間）※ 研究開始時期（予定）は変更しないでください |
| **６．上記期間中での研究開発費総額** |
| ◯◯◯百万円（間接経費を含む）　　※ 様式2　3.(１)の金額と一致させてください |
| **７．提案者（研究代表者候補）に関する情報** |
| （フリガナ）氏名： |
| 所属機関名： |
| 所属部署・役職： |
| e-Rad研究者番号：府省共通研究開発管理システム(e-Rad)より付与された 8桁の研究者番号を記入してください。採択後、e-radに必要情報を入力いただきます。 |
| 提案者の情報が掲載されたURL：（研究室ホームページ、researchmap等） |
| 国籍／性別： | 生年月日（西暦）： （応募時　　歳） |
| **８．提案者の所属機関に関する情報** |
| 日本の法律に基づく法人格の有無：[ ] 有り　[ ] 無し　（いずれか一つ選択してください） |
| 提案者の所属機関名： |
| 登記簿上の所在地： |
| 提案者勤務先の所在地： |
| 想定する研究実施場所：「提案者勤務先の所在地」と同一の場合は「同上」で可 |

**【様式２】研究開発課題提案の詳細**

**※様式２は、20ページ以内でご説明ください。**

**提案書の作成にあたっては、公募要領第2章「2.1　研究内容、実施期間、予算など 」、「2.9 選考の観点」をご確認ください。**

**１．本研究開発提案の概要（1ページ程度）**

公募要領記載の研究内容の要件を達成するため、本研究開発提案（以下、本提案）の概要を記載してください。最終的に目指す成果と、中間評価までに達成すべき成果を記載に含めてください。図なども活用し、分かりやすく記載してください。

**２．目指す成果達成に向けた研究開発内容について（1５ページ程度）**

（１）研究開発の背景

最近のAI気象海象予測技術開発の動向をふまえて、通常の気象予測の時間スケール10日を越える時間スケールの予測に関する現状分析と、それをふまえて克服すべき技術的課題を記載してください。とくに、公募要領2.9選考の観点（4）(5)についての記載を含めてください。

（２）具体的な研究開発内容

克服すべき課題をどのように解決するのか、その解決方法を記載してください。

**３．研究開発計画（スケジュール及び実施体制）（2ページ程度）**

本様式「２．目指す成果達成に向けた研究開発項目について」を実施する上での具体的な研究開発スケジュールについて、研究開発項目毎に、各研究開発機関の役割分担、予算規模を記載してください。さらに研究開発項目間の関係性が分かるよう、研究開発の実施体制図も示してください。

**（１）5年間の全体計画スケジュール及び予算計画**

研究開発項目毎のスケジュールと予算計画を記載してください。1機関による実施を原則としますが、複数機関による実施の場合には以下のとおり、機関毎に記載してください。

研究開発項目名は、「２．目指す成果達成に向けた研究開発項目について」に合わせてください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究開発項目名 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 | 2030年度 |  | 合計 |
| ○○○○（○○大学） | XX | XX | XX | XX | XX |  | XX |
| △△△△（○○大学、XX株式会社） | XX | XX | XX | XX | XX | XX | XX |
| ■■■■（○○大学） | XX | XX | XX | XX | XX |  | XX |
| □□□□（○○機構） | XX | XX | XX | XX | XX |  | XX |
| 合計 | XX | XX | XX | XX | XX | XX | XX |

（研究開発費（間接経費を含む）の単位：百万円）

**（２）実施体制図**

　研究開発の実施体制図を示してください。その際、研究開発項目間の関係性や、成果達成において各機関が参画する必要性、適切な役割分担がなされていることが分かるように、適宜文章で補足してください。

研究開発開始後に参画する事業者等が想定される場合は、そのことが分かるように記載してください。

**４．実証試験の実施内容（項目４．５．で2ページ程度）**

具体的な実施方法（いつ、どのように、何をするか等）を記載してください。

**【様式３】研究開発期間内における機関毎の予算計画**

1機関による実施を原則としますが、複数機関による実施の場合には研究開発機関毎の予算計画を記載してください。

全機関の合計額は、様式１　６．の金額及び、様式２ 3(1)の合計額と合致させてください。

（記入例）必要に応じて行を増減してください。

（１）●●大学

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究費目 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 | 2030年度 |  | 合計 |
| 物品費 | XX | XX | XX | XX | XX |  | XXX |
| 旅費 | XX | XX | XX | XX | XX |  | XXX |
| 人件費・謝金 | XX | XX | XX | XX | XX |  | XXX |
| その他 | XX | XX | XX | XX | XX |  | XXX |
| 合計 | XX | XX | XX | XX | XX |  | XXX |

（研究開発費（間接経費を含む）の単位：百万円）

（２）●●株式会社

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究費目 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 | 2029年度 | 2030年度 |  | 合計 |
| 物品費 | XX | XX | XX | XX | XX |  | XXX |
| 旅費 | XX | XX | XX | XX | XX |  | XXX |
| 人件費・謝金 | XX | XX | XX | XX | XX |  | XXX |
| その他 | XX | XX | XX | XX | XX |  | XXX |
| 合計 | XX | XX | XX | XX | XX |  | XXX |

（研究開発費（間接経費を含む）の単位：百万円）

**【様式４】確認事項**

**（特記事項、研究費の応募・受入等の状況・エフォート、学歴・職歴及び主要業績）**

提案者（JSTと締結する研究開発機関において、委託研究契約等に係る研究開発を中心的に行う者）に関して記入をお願いします。ただし、複数の研究開発機関での提案の場合は、各研究開発機関の代表者ごとに様式4を作成して下さい。

・研究者（所属・役職・氏名）　生年月日（年齢）：

○○大学大学院○○研究科・教授・○○　○○　昭和○年○月○日（満○歳）

・e-Rad研究者番号：00000000

1. 特記事項
	1. 主たる研究分担者の要件

採択となった場合、主たる研究分担者としてK Programに参画いただきます。主たる研究分担者が満たす必要がある要件については以下の通りですので、ご回答下さい。

1. 日本の居住者としての該非[ ] **該当**[ ] **非該当**

主たる研究分担者の居住地の住所（市区町村まで）：○○県○○市

*※ 主たる研究分担者の所属機関の住所では無く、居住地の住所（市区町村まで）を入力してください。*

*※ 日本の居住者としての該非に関しては、「経済産業省：安全保障貿易ガイダンス（入門編）」（https://www.meti.go.jp/policy/anpo/guidance.html）を参照してください。*

1. 外為法の特定類型の該非[ ] **非該当**[ ] **該当**

*※ 特定類型に関しては、安全保障輸出管理における「みなし輸出管理」の対象明確化（経済産業省 https://www.meti.go.jp/policy/anpo/anpo07.html 令和 4 年 5 月 1 日施行）を参照してください。*

* 1. 安全管理措置の計画

*※3~5行程度で記載。研究開発に関する情報等を適切に管理する目的で、安全管理措置、安全保障貿易管理制度に関する法律上必須とされる取組、及び研究インテグリティとして求められる取組について、現時点で想定している研究開発機関における取組及び今後の計画（研究実施施設、インフラ、情報管理体制、及び情報管理方法）を記述してください。（直ちに実施するものだけではなく、技術成熟度に応じて対応するものを含めた経時的な計画。）*

* 1. 研究代表者（安藤 英幸・株式会社MTI　常務取締役）、あるいは研究開発項目6代表者（宮澤　泰正・海洋研究開発機構・上席研究員）と当該研究開発機関との利益相反

[ ] なし　　　　　[ ] 有り（*関係を記載*）

* 1. JSTと当該研究開発機関との利益相反

[ ] なし　　　　　[ ] 有り（*JSTが出資している機関であればその内容を記載*）

1. 研究費の応募・受入等の状況・エフォート

※現在応募している、あるいは現在受給している国の競争的資金制度やその他の研究助成等について、制度名ごとに、課題名、実施期間、役割、本人受給研究費の額、エフォート等を、受給している研究費が多い順（ただし、研究費の多寡によらず、本事業は1番目に記入のこと）にご記入ください。また、研究以外の業務の概要とエフォートもご記入ください。なお、「申請に係る所属・役職」欄については、その研究費を申請する際に用いられた所属・役職を１つ記入してください。また、「エフォート」は、年間の全仕事時間(研究やマネジメント活動の時間のみならず、営利事業や非営利事業に関する活動、教育・医療活動等を含む)を100％とした場合、そのうち当該業務の実施に予定している時間の配分率（％）をご記載ください。

※ <https://www.jst.go.jp/k-program/koubo/download/20240416/guideline240416-pro01.pdf>に記載の「4.3不合理な重複・過度の集中に対する措置」「4.4 研究活動の国際化、オープン化に伴う新たなリスクに対する研究インテグリティの確保について」もご参照ください。**海外からの研究資金についても記入対象となりますので、国内外を問わず、競争的資金のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費などの研究資金について全て記載してください。**

※ 記入内容が事実と異なる場合には、後日取り消しとなる場合があります。

（１）現在応募中の研究費（直接経費）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 通し番号 | 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 課題名（代表者氏名） | 役割(代表・分担等の別） | 申請に係る所属・役職 | 1. 本人受給研究費（期間全体）
2. 〃 (2025年度 予定)

【直接経費を記入】 | 2025年度エフォート(％) |
| 1 | 【本事業】経済安全保障重要技術育成プログラム | *研究開発課題名**（提案者名）* | 分担 |  |  | XX |
| *2* | *JSPS科学研究費**補助金**基盤研究(A)**（2024.4～2028.3）* | *××による◇◇の研究**(○○○○)* | *代表* | *○○大学 大学院○○研究科 教授* | *（１） X百万円**（２） X百万円* | *5* |
| *3* |  |  |  |  |  |  |

●現在応募中の研究課題と、本研究開発課題との関連性及び相違点

　*応募中の課題と本課題との関連性・相違点について、通し番号を引用しながら説明してください。本課題とすべての課題との関連性・相違点の記載を行ってください。本事業以外への応募がない場合には記入不要です。*

（２）現在受給中（採択され、受け入れ予定の状態のものを含む）の研究費（直接経費）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 通し番号 | 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 課題名（代表者氏名） | 役割(代表・分担等の別） | 申請に係る所属・役職 | 1. 本人受給研究費（期間全体）
2. 〃 (2024年度)
3. 〃 (2025年度予定)

【直接経費を記入】 | 2025年度エフォート(％) |
| *1* | *JSPS科学研究費**補助金**基盤研究(S)**（2021.4～2026.3）* | *××による◇◇の研究**(○○○○)* | *代表* | *○○大学 大学院○○研究科 教授* | *（１） X百万円**（２） X百万円**（３） X百万円* | *10* |

*※2024年度限りで終了する研究費については記載不要です。*

●現在受給中の研究課題と、本研究開発課題との関連性及び相違点

　*受給中の課題と本課題との関連性・相違点について、通し番号を引用しながら説明してください。なお、本課題とすべての課題との関連性・相違点の記載を行ってください。*

（３）その他の活動

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 機関 | 役職 | 活動内容 | 2025年度エフォート(％) |
| *△△株式会社* | *顧問* | *研究開発の指導* | *2* |
|  |  |  |  |

1. 学歴・職歴及び主要業績

**（１）学歴及び職歴**

・学歴（高校卒業以降）

*（記入例）*

◯◯◯◯年 ◯◯高校卒業

◯◯◯◯年 ◯◯大学◯◯学部卒業

◯◯◯◯年 ◯◯大学大学院◯◯研究科修士課程○○専攻修了

◯◯◯◯年 ◯◯大学大学院◯◯研究科博士課程○○専攻修了

◯◯◯◯年 博士（◯◯学）（◯◯大学） 取得

・職歴

（記入例）※ 同一法人内での細かな職歴異動情報は記載不要（直近を記載）です。

◯◯◯◯年～◯◯年 ◯◯株式会社◯◯開発部（◯◯◯◯について開発）

◯◯◯◯年～◯◯年 ◯◯大学特任准教授（◯◯◯◯に関する研究に従事）

◯◯◯◯年～◯◯年 ◯◯株式会社◯◯事業部（◯◯◯◯事業担当）

◯◯◯◯年～◯◯年 ◯◯大学准教授

◯◯◯◯年～◯◯年 ◯◯大学教授

**（２）論文・著書等（直近10年間）**

①　論文・著書等

論文データベース（ORCID・Web of Science・SCOPUS等）著者ID：

*・現在から順に発表年次を過去に遡って記載してください。*

*・記載に際し、行頭に連番を付けてください。*

*・論文の場合、著者名（著者は全て記載。自身に下線）、発表論文名、掲載誌・国際学会名、巻号・ページ・発表年、DOI番号を記載してください。*

　　②　学会発表

**（３）国内外の受賞歴（10件以内）**

*・主な国内外の受賞歴１０件以内を、現在から順に受賞年次を過去に遡って記載してください。*

*（記入例）*

*○○○○年　○○賞「」*

**（４）関連技術の特許情報（５件以内）**

*出願番号、発明者名、発明の名称、出願人、出願日を記載してください。*

* *大学等に所属している研究者の場合は、自身が発明者である本課題に関連すると考える重要なものを記載ください。*
* *民間企業に所属している研究者の場合には、自身が発明者ではない場合も含め、本課題に関連すると考える重要なものを記載ください。*

**【様式５】参画企業に関する情報**

研究開発機関等として参画する企業（以下「参画企業」といいます。）のうち、JSTの委託研究開発費を使用する企業の概要についてそれぞれ本様式を作成してください。

**該当する参画企業が存在しない場合は、「該当無し」と黒字で記載の上、表は削除してください。**

※　企業とは、株式会社、合同会社等の営利法人を指します。財団法人や社団法人は対象外です。

※　参画企業数に応じて表をコピーしてご利用ください。

※ 別途、JSTとの協議の上、直近3期分の財務諸表の提出を求めることがございますので、あらかじめご了承下さい。

参画企業名：株式会社　○○○○

＜参画企業の概要＞

|  |
| --- |
| 20XX年00月00日 現在 |
| 企業名 | 株式会社　○○○○ | 設立年月日 | 19yy/mm/dd | 上場 | 有(　年　月)･無 |
| ウェブサイト | http:// |
| 本社所在地 | ○○県○○市○○町○丁目○番○号 |
| 工場 | 本社工場（○○市）、□□工場（□□市） |
| 研究所 | 本社研究所（○○市） |
| 代表者名 | 代表取締役　○○○○ |
| 役員数 | 00 | 名 | 資本金 | 000,000 | 百万円[単独] |
| 従業員数（役員数は含めない） | 00,000 | 名[単独] | ( | 00,000 | 名[研究開発要員] | ) |  |  |  |
| 主要株主 | ○○○○（　　％）、□□□□（　　％）、△△△△（　　％） |
| 事業内容 | ○○○○、□□□□の製造及び販売、△△△△の受託研究開発 |
| 研究開発能力 | 記入例）　□□研究所、▽▽㈱とも協力関係を築いており、本年度も☆☆☆☆の研究開発を実施している。（…等、研究開発の実施能力を示す事柄を記述してください。） |
| 研究開発実績 | 記入例）　令和☆年、独自に○○○○を開発し製造販売している。また、◎◎◎◎について□□大学△△教授の協力を得て研究・開発を実施、企業化の目処が立ち、来年には販売開始予定である。（…等、主な実績を記述してください。箇条書きで結構です。） |
| 経営状況と見通し | 記入例）①当社は○○○のメーカーであり、◎◎◎等は当該分野では他の追随を許さぬ製品となっている。（…等、貴社の得意面を記述してください。以下同様。）②業績面については、主要需要先である△△△が、▽▽▽の東南アジア向けの市場拡大に支えられ高水準で推移したため、平成☆年☆月期売上高で対前期比○○％増の□□百万円を計上した。また、損益面については新製品の販売を開始、原価低減活動により経常利益で対前年比○○％増の□□百万円を計上した。③新製品（○○）の販売拡大等により増収、増益となる見通しである |